

【編集後記】

あなたは 愛する人の死を 忘れない 残る身の 不幸を
 忘れない 愛は 忘却を 許さない
 なのに あなたは 他人の不幸に 壁になり 告白は 嘘
 だとなじって 震える人を また殺す 世のなか 理不尽
 な あなたが 多すぎる

^{いくさ}戦は 死の篡奪から 始まる 国家は その心を 仕掛け
 る 愛する者のために 行った戦が 愛する者を 慟哭の
 海へ 沈める

拳で殴打された 少年の屈辱も 力で凌辱された 少女の
 恐怖も なかった ことにして
 戦場で逝った 父と兄の 悔恨と 空襲で逝った 母と姉
 の 無念を 国家へ抵当に 差し出せば
 狂気の 時代の 足音がする 憂鬱な この頃

だから「この夏を忘れない」闘いがある。戦争法案との闘いが続く。戦争は差別の極みという。正確に言おう。差別は戦争の母である。差別は人を虐げ、殺す。その心性が戦争を呼ぶ。だから差別との闘いは重要である。そんな思いのこの頃である。

本誌も、戦争、「慰安婦」問題、部落差別、エスニシティ、障害者、宗教と多彩な主題の論考が揃った。いずれも渾身の作である。本誌は、非道な世界と闘う雑誌でありたい。あらためてそう思う。著者の方々に謝意を表し、本誌の世界へ読者の方々を誘いたい。

(A)